

令和6年12月1日

総務大臣 殿

広島県三原市宮沖五丁目8番15号
株式会社FMみはら
代表取締役 後藤 和之

放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第8条第1項第3号の規定により、下記の書類を添えて提出します。

記

- ・ 番組審議会議事録（第36回、令和6年11月28日開催）

《別紙》

1. 開催年月日 令和6年11月28日

2. 開催場所 三原駅前スペースキオラスクエア内サテラス

3. 委員出席
 委員総数 7名
 出席委員数 5名

4. 議題

- ・局からの近況報告
- ・番組審議について

5 議事の概要

6 審議内容

(1) 開会宣言

放送事業者からの開会宣言

(2) 局からの報告

「秋の番組改編、新番組、終了番組」について

事務局より以下の通り報告があった。

事務局「FMみはらは毎年10月と4月に番組改編を行っているが、この10月の段階で番組変更はなかった。理由は、新しい番組を制作するより営業活動に力を入れていたからである。

12月から月一回『おだしずえのミュージックブック』という新番組をスタートする。おだしずえは、2024年3月までRCC中国放送『おひる一な』を担当、その以前は、近畿や関東方面の番組に出演し、広島エフエム放送では奥田民生さんと『しーとたみおのレッツ・ゲット・トゥゲザー』という番組を行っていた。

今回、大和町の会社がスポンサーになり、番組をスタートする。おだしずえは、呉の観光大使をしており、スポンサー企業は県域全体からの集客を目指している。この背景から、県内で知名度のある方が番組をするのなら反響があるのでは？という事から番組をスタートしている。

おだしずえはこれまでも、FMみはらへ定期的にゲスト出演し、その時は、FMみはらのフリースペースが観覧者で満席になっていた。その実績からも反響に期待ができる。

また、『見晴らしRyoko!』『愛され わん・にゃん』この2番組が12月で終了予定である。

局では現在、パーソナリティ・アルバイトを募集している。おだしずえのような県域で知られている方をパーソナリティとして起用する事も必要

だが、三原市内在住の方で緊急時、直ちに防災・災害放送対応ができるパーソナリティを増やしたい。

ご当地タレントをFMみはらは探している。三原まで来ることが可能で、知名度がある人を起用していきたい。ただ、金額面等の課題があり実現が難しい。」

- A 氏「三原市内各高校の放送部・演劇部等の高校生に番組を担ってもらい、将来、声優やメディア関係で働きたい人の経験の場になればいいのではないか。」

第一号議案「番組審議」

番組名：ベストヒットリクエスト スペシャル

出演：映画監督 前田多美

パーソナリティ：原田真弓

事務局「今回準備したのは、『ベストヒットリクエスト スペシャル』で、映画監督の前田多美が10月に出演した。ベストヒットリクエストは、月曜日～金曜日の13時台、金曜日の19時台に放送している音楽番組である。普段はリスナーから約1時間のプレイリストを作成して送ってもらい、FMみはらで曲を準備し放送している。その中で、毎月1本程度、リスナーからではなくて、医者やタレント、ラジオDJなどを招き、プレイリストを作成してもらい、解説を交え放送している。

今回は、映画監督の前田多美が新作映画を制作し、紹介する為、出演した。『KYロック!』という映画である。広島が舞台で主演に加藤雅也さんを招いている。テーマとして、加藤雅也さんの還暦記念に制作された。現在は、横川シネマと東京池袋の映画館のみで上映され、前田多美が全国の映画館に営業活動をしている。

今回原田真弓が進行役を行ったが、普段、著名タレントや作家と番組をすることが少ない。前田多美とのやり取りが聞きやすかったか？また、各専門家の方々と番組を行うときの事についてご意見頂きたい。」

- A 氏「何か質問や意見はあるか？」
B 氏「知っている曲はなかったが、掛け合いがよかった。ダイジェストしか聞いていないので、どのような曲か聞いてみたくなった。前田多美さんは知らなかったが、興味が出た。」
C 氏「加藤雅也さんがおっしゃっていた、『地方都市で日本の文化を守る』という発言に共感した。個人的に、ローリーがカバーしたキャンディーズ『あなたに夢中』の選曲がよかった。」

事務局「加藤雅也さんは、横山雄二さんの映画や下関市とコミュニティFM局が舞台の映画にも出演されるなど、近年は、地方都市で制作する映画に出演しキャリアを積まれている。」

第二号議案「ご要望について」

- A 氏「何かリスナーさんからの意見はないか。」

事務局「有名なパーソナリティ・タレントを起用できないのかという要望がある。パーソナリティが開局からほぼ変わっていない状況があり、年齢も高くなっている。その為、若い人の声が聴きたいという意見がある。しかし、20代で、ラジオパーソナリティをしたいという方がいない。」

- A 氏「多くのコンテンツが生まれ、若い人がラジオを聞かなくなっている。」

事務局「配信サイトでラジオを聴く人も多い。以前と比較し、ラジオの聞き方がリアルタイムで聞くものではなく、聞きたいときに聞く媒体へ変化している。」

C 氏「『愛され わん・にゃん』が終了した後の番組予定はあるか？」

事務局「出演者を変えて続けていく予定である。」

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・必要にあわせて今後の審議会の中で対応したことについて発表する。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法：事務所への備置き ホームページでの公開

公表の内容：議題、議事の概要および審議内容

公表年月日：令和6年11月30日

9 その他参考事項